

日本にある世界遺産の ツアーガイドになろう

高校 1年
コミュニケーション英語 I
資料の活用(表現活動)

ねらい

- 世界遺産の歴史、内容、見所について資料を活用して調べる。
- 訪日外国人客に向けてツアーガイドになりきって、英語で世界遺産についてオリエンテーションを行う。

学 習 展 開

- ①担当教員が、授業の流れと発表方法などについて説明する。
- ②インターネットで実際のツアーガイドの様子(動画)を全員で視聴する。
- ③学校司書が情報の集め方などについて説明する。
- ④生徒が日本にある世界遺産1か所について、図書資料や iPad などを利用しながら、ワークシートに書きだす。
- ⑤生徒は、ワークシートに書きだした内容をもとに、ツアーガイド原稿を英語で書く。
- ⑥ALT とクラスの前で発表する。



図書館での授業風景

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教科担当教員と必要な資料について話し合う。
- 学校司書は、生徒に情報の集め方について説明を行う。
- 学校司書は教科担当教員と連携して、個々の生徒に必要な資料を手配する。

★指導のポイント

- ◆ 授業では、学校図書館にある本だけではなく、県立図書館から本を借り、さらに iPad などを使って調べ、様々な情報を整理しまとめた。
- ◆ 教科書で扱った屋久島のツアーガイド原稿を参考に、英文を作成するよう指導した。

資料

啓林館 LANDMARK English Communication I Lesson7
日本にある世界遺産に関する資料(自校・県立図書館・インターネット)